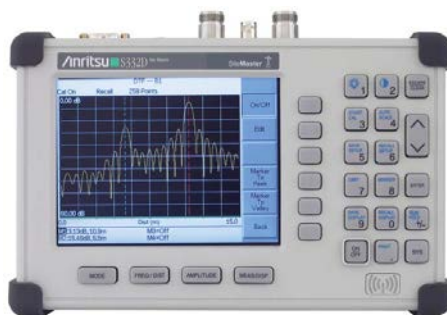


長くお使いいただいた 旧モデル S300D サイトマスタ 後継機種のご案内

S331E ケーブルアンテナアナライザ (2 MHz~4 GHz)
 S332E ケーブルアンテナアナライザ (2 MHz~4 GHz) /スペクトラムアナライザ (9 kHz~4 GHz)
 S361E ケーブルアンテナアナライザ (2 MHz~6 GHz)
 S362E ケーブルアンテナアナライザ (2 MHz~6 GHz) /スペクトラムアナライザ (9 kHz~6 GHz)

S300Dシリーズ サイトマスタについて

S300D シリーズ サイトマスタを長らくご愛用いただきまして、ありがとうございます。
 Dシリーズ サイトマスタは2012年に生産終了後、8年経過したことから、修理サポートも終了しております。



S300Dシリーズ サイトマスタ

後継機種 S300Eシリーズのご案内

S300E シリーズサイトマスタは、8代目のサイトマスタで、S300D シリーズサイトマスタの後継器です。

S331E/S361Eはケーブル&アンテナアナライザのみのモデル、S332E/S362Eはさらにスペクトラムアナライザ機能を追加したモデルの計4機種をラインナップしております。



S300Eシリーズ サイトマスタ

形名	ケーブルアンテナアナライザ	スペクトラムアナライザ
S331E	2 MHz~4 GHz	-
S361E	2 MHz~4 GHz	9 kHz~4 GHz
S332E	2 MHz~6 GHz	-
S362E	2 MHz~6 GHz	9 kHz~6 GHz

主な機能オプション

オプション	説明
S3xxE-0019	高精度パワーメータとの接続機能
S3xxE-0031	GPS受信機能

多彩なアプリケーション

- アップ/ダウンリンク周波数帯を同時に測定しながらマーカ機能を使用して各周波数帯域内の最大値/最小値を検出可能



M1をアップリンク下限周波数に、M2をアップリンク上限周波数に M5のマーカオプションを利用してM1とM2の間で最大/最小値の検出が可能。

M3をダウンリンク下限周波数に、M4を ダウンリンク上限周波数に M6のマーカオプションを利用してM3とM4の間で最大/最小値の検出が可能

- アップ/ダウンリンク周波数帯を同時に測定される方の効率アップに効果的

- デュアル画面



例) VSWR (上段) とDTF (障害位置検出、下段) を同一画面上に表示が可能

- VSWRとDTFを使用した障害位置検出、または、ケーブルロスとDTFを使用した電気長測定が1回の測定で可能

- オプション0031GPS受信機能

基地局に併設されたGPSアンテナの受信衛星数の確認が可能。受信した画面をワンタッチでスクリーンショット (.jpg) で保存可能



- 付帯工事が完了後、無線機設置時にGPS受信不良が発生した場合の出戻り作業防止に効果的

- つなぎ替え無しで校正可能なInstaCal™モジュール

Open/Short/Loadの3回のつなぎ替えを1回の接続で校正することで効率アップに効果的



ICN50B InstaCal™モジュール

- 周波数を変更しても校正状態を有効にするFlexCal™機能 周波数帯の異なる測定も1回の校正でカバーするため効率アップに効果的

本資料は、記載内容をおとわりなしに一部変更する場合があります。また、各測定画面例の数値結果等は保証される値ではありません。規格値はカタログ/データシートをご覧ください。